

11. 泌尿器科学分野

研究テーマ	各種病態モデルを用いた薬剤の下部尿路機能への影響についての解析
研究担当者	医学系部門 泌尿器科学分野 <u>横山 修</u>
概要	これまで様々な病態モデルを作成し、排尿障害のモデル動物として報告を行ってきた。脳梗塞モデル、脊髄損傷モデル、膀胱出口部閉塞モデル、心理ストレスモデル、間質性膀胱炎モデル、食塩感受性高血圧モデル、メタボリック症候群モデルであるが、これらは何れも蓄尿障害を示す。また長期の飼育で低活動を示すようになる。これらのモデルを用い、新規薬剤の下部尿路機能への効果を検証し、新薬開発のモニターとして活用することができる。
キーワード	膀胱、尿道、排尿障害、下部尿路症状
適用分野	高齢者医療、神経疾患・生活習慣病などの医学分野
関連企業	製薬企業